取付・取扱説明書

NEWSBOX

NPX-2

このたびは＜タジマニュースボックス＞NPX-2型をお買いあげいただきありがとうございました。ご使用の前にこの説明書をお読みいただき＜タジマニュースボックス＞NPX-2型の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。お読みになったあとは必ず保管してください。

安全のため必ず守ってください

⚠注意 扉にぶら下がらないでください

特に子供の遊びにご注意ください。扉にぶら下がったりすると、扉が変形したり、破損することがあり大変危険です。

定期的に新聞をお取り出しください

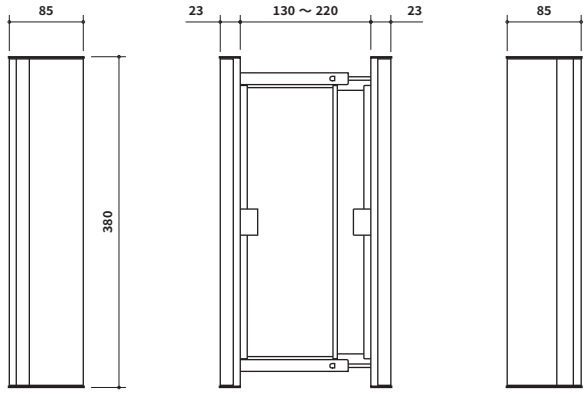
新聞がたまると扉が開け放しになり、けがや故障の原因となります。扉が開け放しにならないよう、定期的に新聞をお取り出しください。

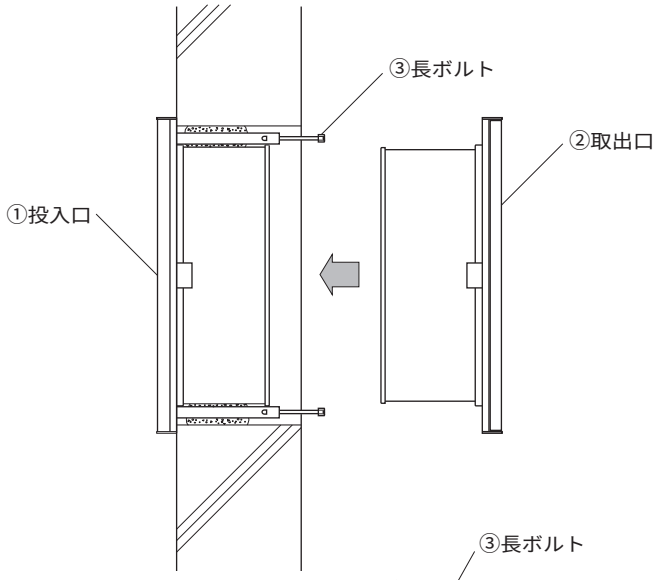
定期的なお手入れが必要です

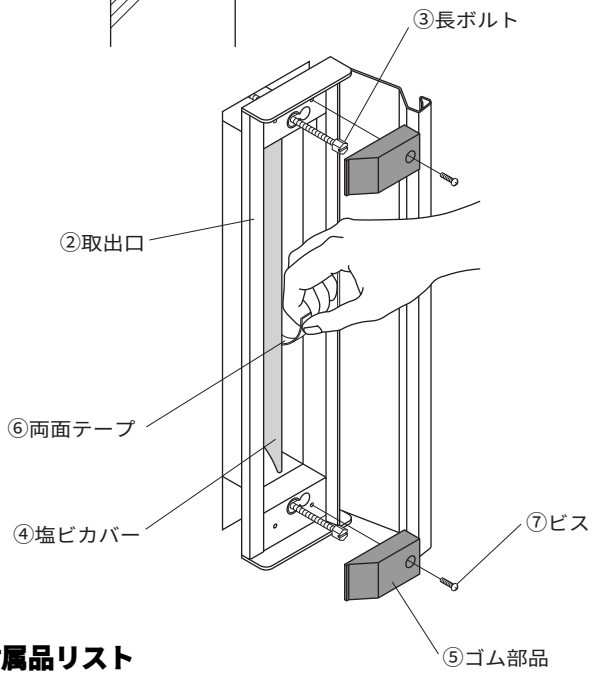
ステンレスは汚れを放置し、お手入れをおこたると（特に屋外設置の場合）もらいサビを起こします。常に清浄に保つよう、定期的なお手入れが必要です。柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。その後、から拭きして水分を完全に取り除いてください。ベンジン、シンナー、みがき粉、タワシなどを使って清掃することはお避けください。変色、キズ、塗装ハクリの原因になります。

⚠注意 **製品の細部までお手入れされる場合は、板金製のため手を切る恐れがありますので、必ずゴム手袋などで手を保護するようにしてください。**

取付方法



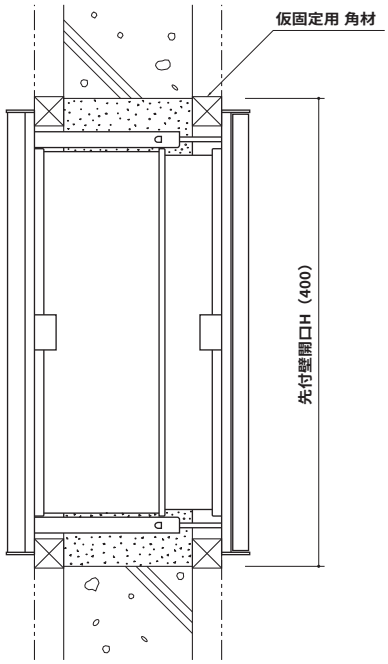




■ 付属品リスト

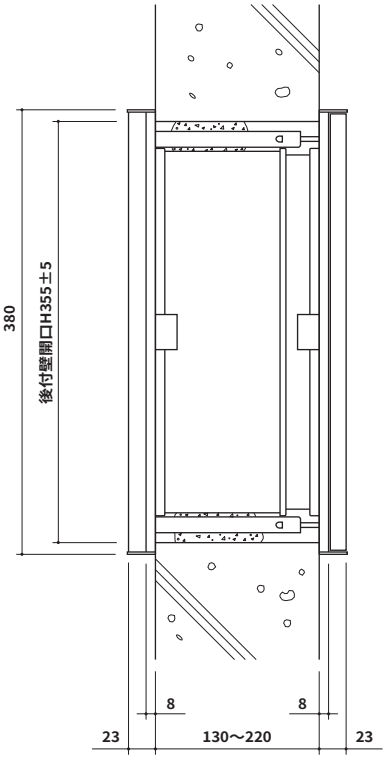
③	長ボルト	2
⑤	ゴム部品	2
⑦	ビ　ス	2

■先 付

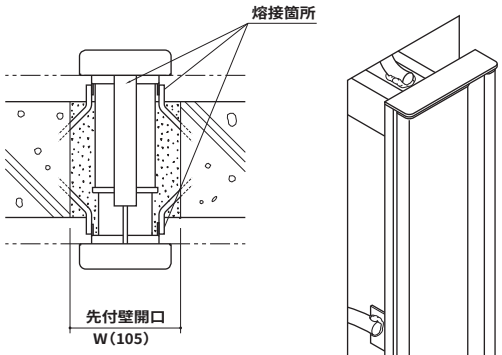


●角材仮固定

■後 付



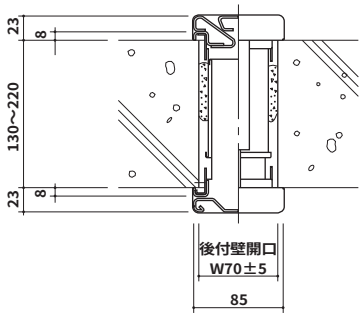
NPX-2



●熔接仮固定

1）投入口①と取出口②の左右勝手を確認します。もし勝手が違う場合は上下を逆にして組み付け直します。
2）壁に仕上がり寸法より大きめになるように長ボルト③の長さを調節し、塩ビカバー④を取出口②のボックス中に通して投入口①に取出口②を組み付けます。
3）壁の仕上がり寸法に合う角材を製品の上下にかませて、取出口②側より長ボルト③をねじ込んで仮固定します。
4）取出口②へゴム部品⑤を上下にビス⑦で取り付けます。
5）塩ビカバー④の裏側にある両面テープ⑥をはがし、取出口②のボックスの内側に貼り付けます。
6）製品と開口部の隙間にモルタルを充填します。固まったら角材を外し、壁面を仕上げます。

熔接にて取り付ける場合は、左右中央部のスチール板と上下の長ボルト③の受け金具の部分に熔接固定して、上記と同様の手順にて取り付けます。



1）壁開口部の内側にモルタルを回し込みます。
2）壁の仕上がり寸法より30mmほど長めに長ボルト③の長さを調節します。
3）投入口①の左右勝手を確認しながら、投入口①を壁開口部分へ差し込みます。
4）取出口②の左右勝手を確認し、塩ビカバー④を取出口②のボックスの中に通して、上下部分のダルマ穴に長ボルト③の頭部を差し込み、投入口①に取出口②を組み付けます。
5）取付位置を確認しながら長ボルト③を上下共、締め込みます。
6）取出口②へゴム部品⑤を上下にビス⑦で取り付けます。
7）塩ビカバー④の裏側にある両面テープ⑥をはがし、取出口②に貼り付けます。

投入口の調整

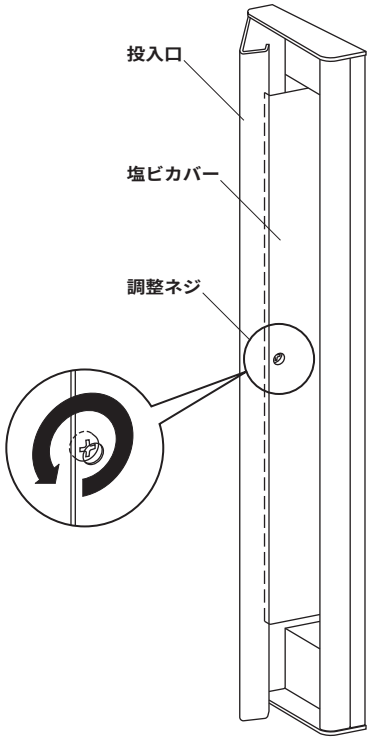
本製品は**安全な設置場所に限り**、投入口の開き角度を調整することができます。調整後は約15 °広がりますので、広告量の多い厚手の新聞も投函しやすくなります。

[調整後の投入口]

注意
調整をおこなうと、長い棒等を使ったいたずらで、投入口側から取出口を操作される恐れがあります。また、**“ BL住宅部品制度は適用されません ”**のでご了承ください。

■調整方法

投入口を開き、塩ビカバー中央部の穴の奥に見える調整ネジを、＋ドライバーを使用して緩めます。
調整ネジを3回転ほど回すと、投入口の開き角度が約15 °広がります。



取付注意事項

※板金製のため保護用手袋を着用して、作業してください。

※取り付け後、内外装工事を行う場合は製品に養生を施してください。
工事よるチリ・ホコリなどの汚れを製品に付着したままにすると「もらいさび」をおこす場合があります。

※清浄液が付着しないようにご注意ください。
特にタイルなどの清浄液がかかると「さび」が発生しますので、ご注意ください。

※本体に「ねじれ」が生じると扉の故障の原因となりますので、注意して取り付けてください。

※本書は必ず本体の中に入れておいてください。

製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口

※お問い合わせの際はご使用の新聞受の型式をご確認の上、ご連絡ください。／ 製品名：タジマ ニュースボックス NPX-2型

サービスセンター　フリーダイヤル 0120-090-630　受付時間／平日 9：00〜12：00 13：00〜17：00 (土･日･祝祭日は休ませて頂きます)

■ニュースボックス無償修理保証書

1. 保証期間　竣工引渡日から2年間（箱体の剛性5年間）
2. 保証規定　保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に生じた場合、無償で修理致します。

本製品は新聞の受箱を目的とし、現金、有価証券、重要書類、宝石、貴金属等の保管には適しません。いかなる配達物、内容物であっても、本製品の故障の有無にかかわらず盗難あるいは紛失、損傷，汚染した場合、当社はその責任を負わないものとします。なお次の場合は保証期間中でも「有償修理」と致します。
（1）取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
（2）取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
（3）建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。（4）塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
（5）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。（6）ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
（7）火災・爆発などの事故、落雷･地震･噴火･水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。
●本書は必ず保管してください。

■取り替えパーツについて

本製品の取り替えパーツは扉の軸、丁番・差入口プレートです。パーツの保有期間は生産中止後10年間です。
取り替えパーツは製品の機能を維持するために必要な部品で、外観が多少変わる場合があります。

田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル TEL03-5396-7611(代)

札幌営業所 TEL011-251-3391(代) FAX011-251-3404
埼玉営業所 TEL048-291-3222(代) FAX048-297-0791
横浜営業所 TEL045-260-6651(代) FAX045-262-6653
名古屋営業所 TEL052-955-3807(代) FAX052-955-3887
大阪営業所 TEL06-6533-2071(代) FAX06-6533-2074
福岡営業所 TEL092-504-4475(代) FAX092-504-4482

07.12

説明書の内容更新は、増刷時となります。
連絡先のみ最新版（2015.01 更新）を掲載します。お間違いのないようお願いいたします。

田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013　東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル　TEL03-5396-7621(代)

横浜営業所　TEL045-470-5388(代)　FAX045-473-0207
名古屋営業所　TEL052-955-3807(代)　FAX052-955-3887
大阪営業所　TEL06-6305-3300(代)　FAX06-6305-3320
福岡営業所　TEL092-504-4475(代)　FAX092-504-4482